

とっとり 土地改良だより



発行
みどり
水土里ネットとっとり
鳥取県土地改良事業団体連合会

〒680-0911 鳥取市千代水四丁目37番地

TEL (0857) 38-9500 FAX (0857) 38-9577

<http://www.totirengonet.or.jp>

印刷所 日ノ丸印刷株式会社



農業・農村フォトコンテスト2022 入選作品
「トトロの森」南部町

目

- 新年のご挨拶 鳥取県土地改良事業団体連合会 会長 榎本 武利 2
鳥取県 農林水産部 農業振興監農地・水保全課 課長 森田 智彦 3
- 新年にあたって 全国土地改良事業団体連合会 会長 二階 俊博 4
- 新年のご挨拶 全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子 5
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮崎 雅夫 6
- 第44回全国土地改良大会 沖縄大会 7
- 「令和4年度農業農村整備事業に関する意見交換会(キャラバン)」を開催 8
- 「令和4年度鳥取県土地改良区等役職員研修会」を開催 9

次

- [シリーズ]
- あつまれ、^{みどり}水土里のなかまたち 10
- 編集後記 10

新年のご挨拶

鳥取県土地改良事業団体連合会

会長 榎本 武利



年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられ、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の運営並びに農業農村整備事業の推進につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルスの影響で、多くのイベント・行事に影響を及ぼすことが懸念されていましたが、本会のメインイベントである「美しく豊かなむらづくり大会 2022」は、開催することができました。

しかし、コロナ禍は3年を越えて第8波になり農業の生産現場にも大きな影響を及ぼしています。又、ロシアのウクライナへの軍事進攻は世界経済の混乱と国民生活においても様々な影響を及ぼしています。

農業もガソリンをはじめ、燃料と生産資材・電気料金・肥料・畜産飼料・穀物類までが高騰しており、食糧の安全保障がさげばれております。このような中で国は、昨年9月に「食料安定供給・農林水産業基盤強化本部」を設置するとともに食料・農業・農村基本法の見直しがされています。

見えて来る方向性としては、さらなる「人・農地プラン」の推進と担い手及び集落営農だけではなく家族農業なども含む多様な担い手であったり、農村と農地を守る為、非農家も含めた村の機能を維持する地域政策と企業などの農業参入も求めています。

土地改良の分野においては、国土強靱化の中で災害に強い安全で安心な中山間地域・農村地域づくりに取り組まなくてはなりません。SDGsについても、農業は密接な産業であり連合会にも役割が課せられています。

また、国では第五次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画において、「土地改良区の理事の10%以上を女性にする」「土地改良区と土地連の女性登用を推進する」という目標が示されており、達成に向けて、今年から集中的に取り組んで頂くようお願いします。

今後も、農業農村整備事業を推進すると共に、農業・農村の役割、大切さの周知や各土地改良区が抱えている課題等の解決に向けて、会員の皆様から信頼される農業土木のトップ技術者集団を目指してまいりますので、引き続きご支援、ご協力をお願いするとともに、会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念し、新年の挨拶といたします。

会員の皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます

鳥取県土地改良事業団体連合会 役職員一同

新年のご挨拶

鳥取県 農林水産部 農業振興監農地・水保全課
課長 森田 智彦



新年あけましておめでとうございます。

皆様には日頃から農業農村整備事業の推進にあたり、多大なるご協力とご支援を頂き、厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症第8波の感染拡大や円安・物価高騰、更には県内初となる高病原性鳥インフルエンザの養鶏場での発生など、皆様方の日常生活や農業生産活動にも多大な影響があったことと思われます。新型コロナウイルス感染症の早期収束・根絶、社会情勢の安定化により皆様方の生活が平穏となることを願うところであります。

さて、国の令和5年度の農業農村整備事業予算は前年度とほぼ同額の4,457億円、令和4年度補正予算を合わせると6,134億円が確保されました。また、令和4年度補正予算等により、農業水利施設の電気料金高騰に対する支援として、土地改良区等にエネルギー価格（電力料等）高騰分の一部を支援金として交付する「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援交付金の創設（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額・強化）」及び「農業水利施設の省エネルギー化推進対策」が予算化されたところです。これは、鳥取県農業農村整備事業推進協議会ほか土地改良関係団体の皆様方が農業生産現場での現状課題や農業農村整備事業の必要性を声高に訴え、国に要請して頂いた結果であり、厚くお礼申し上げます。

この度の予算は、令和3年3月に閣議決定された土地改良長期計画（令和3～7年度）に基づき、担い手への農地の集積・集約化、高収益作物への転換、頻発化・激甚化する災害に対応したため池対策や流域治水の取組等による農業・農村の強靱化等に要する予算となっており、鳥取県においても、この計画目標に向け事業を進めていくこととしています。

特に、流域治水の取組として、田んぼが従来から持ち合わせる貯留機能を向上させる取り組みである「田んぼダム」を推進しており、「田んぼダムモデルほ場」を鳥取県農業試験場内に設置し、4回の研修会（約260名の参加）を行ったところです。「田んぼダムモデルほ場」では、田んぼダムの貯留効果、堰板・落水口の形状による効果の比較、湛水による営農への影響等を実際に見て頂き、実際に田んぼダムを行う方々の不安の払拭や取組のきっかけとなることを期待しているところです。令和5年度も引き続きモデルほ場を活用し田んぼダムの啓発活動を行い、県民みんなで共に農地・農村を支え合う環境と安全安心な都市生活の実現を目指していきます。

最後に、鳥取県農業の活力を維持し、そして高めていく施策を推進するための羅針盤として策定された鳥取県農業生産1千億円達成プランの達成に向け、農業農村整備事業を通して本県の農業振興に全力で取り組んで参りますので、皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会

会長 二階俊博



令和5年の年頭にあたり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な感染対策を講じた上で、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図るウイズコロナの方針が示されました。皆様におかれましては、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き、感染拡大防止に十分ご留意頂きますようお願いいたします。

また、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、一部の国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料流通の機能不全や食料価格の高騰など食料安全保障をめぐる負の影響が国際社会に生じました。

国内では、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、燃料価格の上昇に伴う農事用電力料金の急激な高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような国内外の情勢にかかわらず、食料安全保障の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

岸田内閣は、こうした状況を踏まえて「食料・農業・農村基本法」の見直しに着手しました。この検討の動きを注視しつつ、我々土地改良関係者は、農業・農村の喫緊の課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,457億円を確保することができました。この結果、令和4年度の補正予算を含めると6,134億円となります。

また、令和4年度補正予算において燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の7割を支援する仕組みが導入されました。

ご尽力を頂いた当局をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、我々土地改良団体における喫緊の重要課題となっています。

将来の組織体制の強化・発展のためにも女性参画を進めていかなければなりません。皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、私は本会の会長に就任以来「闘う土地改良」を掲げ、組織一体となって闘ってまいりました。昨年の参議院選挙においては、土地改良の代表として進藤金日子 参議院議員が見事に当選を果たされました。宮崎雅夫 参議院議員と共に「車の両輪」となって、全国を駆け回り、皆様の声を聞き、土地改良予算の確保だけでなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆様の声が国会に届くよう、二人の活動の支援をお願いいたします。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げます、私の新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進 藤 金日子



新年、明けましておめでとうございます。鳥取県土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいる覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円（TPP等対策：760億円、国土強靱化5か年加速化対策：817億円、食料安全保障対策：100億円）が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、本年度と同様に地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、2月のロシアのウクライナへの侵略により、エネルギー価格の上昇、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、円安の急激な進行による物価の上昇等があり、これらは国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じてきたところですが、これらを含め物価高は本年も続くと思われます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靱なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識しております。

また、昨年6月の参議院決算委員会で、私は政治信条である「食料安全保障」について岸田総理に対し質問しました。総理からは「食料の安定供給の確保は国家の国民に対する最も基本的な責務の一つ。新しい資本主義のビジョンの下、食料安全保障を強化するべく政府一体となって取り組んでいきたい」との答弁を頂きました。

私は、「食料供給力」(国内生産力、輸入力、備蓄)の中で弱体化している国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中長期的な展望を持って推進していくことが重要です。このため、今後も予算を安定的に確保するとともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、目に見える成果を出していく必要があります。

本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます。新年のご挨拶にさせていただきます。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫



新年明けましておめでとうございます。鳥取県土地改良事業団体連合会会員各位ならびに関係の皆様へ謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より地域の水と土を守り、農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力頂いておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援を頂きながら、昨年8月まで農林水産大臣政務官を勤めさせて頂き、その間、多くのご要望等をお受けし一所懸命に対応してまいりました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した令和4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、うち、農業農村整備事業関係については、1,677億円が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金高騰対策として、増嵩分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算の概算決定額として、前年を上回る4,457億円が閣議決定され、合計額6,134億円となる見込みとなりました。これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できるよう一所懸命に努めてまいります。

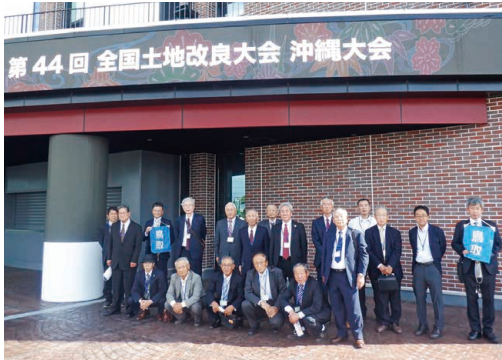
さらに、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、そうした中、我が国食料の安定供給を図る食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められています。国内の食料生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向にも対応するスマート農業を含めた土地改良の促進や農業農村関係人口の拡大の取り組みなどを含め、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまで以上に現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいります決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、鳥取県土地改良事業団体連合会ならびに関係機関の益々のご発展と、皆様方のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしく願い申し上げます。

第44回 全国土地改良大会 沖縄大会



沖縄アリーナでの記念撮影

第44回全国土地改良大会「沖縄大会」が11月22日（火）、沖縄アリーナで、『水土里の拓くみるく世を鳴らしとうゆまし守禮の邦から』を大会テーマに掲げ、全国土地改良事業団体連合会・沖縄県土地改良事業団体連合会主催により、全国の土地改良関係者約2,300名参加のもと盛大に開催され、本県からは21名が参加しました。

式典では、最初に沖縄県土地改良事業団体連合会古謝景春 会長が開会挨拶され、続いて、全国土地改良事業団体連合会 二階俊博 会長が主催者挨拶。玉城デニー沖縄県知事、桑江朝千夫 沖縄市長が歓迎のことば、勝俣孝明 農林水産副大臣、西銘恒三郎 衆議院議員、進藤金日子 参議院議員、宮崎雅夫 参議院議員が来賓として挨拶されました。

土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰（6名）、農村振興局長表彰（16名）、全国土地改良事業団体連合会長表彰（45名）がそれぞれ表彰され、本県からは大倉土地改良区 田中朝久 理事長が農村振興局長表彰、また、岩美土地改良区 神谷博文 理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞されました。

基調講演では、「夢（いみ）をつなぐ土地改良」と題して農林水産省 安部伸治 農村振興局次長が講演され、続いて沖縄県の優良地区事例紹介がありました。

最後に、次期開催県である福井県土地改良事業団体連合会 山崎正昭 会長へ大会旗が引き継がれ、閉幕となりました。



田中理事長(左)、榎本会長(中央)、神谷理事長(右)

翌日の11月23日（水）は、雨の中、沖縄本島八重瀬町安里 慶座地下ダム（ギーザ地下ダム）を視察。国営沖縄本島南部土地改良事業（農業用排水）により、地下浸透水を貯水し安定的な水源を確保するため、高さは53.02m、総貯水量は21万㎡の地下ダムを完成させ、八重瀬町の農業の生産性を格段に向上させている説明を受けました。



地下ダム説明状況



地下ダム放水状況



視察の状況

「令和4年度 農業農村整備事業等に関する意見交換会(キャラバン)」を開催



意見交換の様子

11月29日(火)打吹回廊チュウブコミュニティホール(倉吉市)において、令和4年度農業農村整備事業に関する意見交換会(キャラバン)が開催されました。

今年は、鳥取県農業農村整備事業推進協議会 宮協会長代理(湯梨浜町長)、東部土地改良事業推進協議会 吉田会長(八頭町長)、中部土地改良事業推進協議会 山崎会長(関金土地改良区理事長)、西部土地改良事業推進協議会 陶山会長(南部町長)、とっとり水土里の女性会 檀床会長、水土里ネットとっとり 榎本会長、中村常務理事他が参加しました。

最初に、農村振興局設計課 瀧山室長から、ウクライナ問題による政策の大転換①食料安全保障と食料・農業・農村基本法の見直し②国内の人口減少社会に向けた世界市場や食料危機について、説明がありました。

続いて、農村振興局設計課 村本企画官から、農林水産政策の展開としてスマート農業、農産物(品)の輸出促進、農林水産業のグリーン化、食料安全保障強化、更には土地改良事業団体連合会会員支援のためのサポート機能を強化(土地改良法の改正)について説明がありました。

その後、意見交換が行われました。主な意見・要望等は以下のとおりです。

発言者	意見・要望
鳥取県農業農村整備事業推進協議会 宮協会長代理	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度当初予算における鳥取県への必要額の確保や概算要求での制度拡充の確保について 県内で取組拡大しているスーパー果樹団地整備への予算確保や制度拡充
東部土地改良事業推進協議会 吉田会長	<ul style="list-style-type: none"> 電気料金のみならず資材高騰対策の継続的な支援 団体営事業で取り組むほ場整備についても、担い手等の集積に応じ地元負担軽減を図る制度創設
中部土地改良事業推進協議会 山崎会長	<ul style="list-style-type: none"> 日本型直接支払交付金の予算確保や中山間地域での単価見直し 食料・農業・農村基本法の見直しでは、現場を良く知っている人が改正議論に参加すること
西部土地改良事業推進協議会 陶山会長	<ul style="list-style-type: none"> 農業農村整備事業関係等予算の確保について(ため池の工事) IJU者など新たに農業を行うための農地確保や農業機械などの初期投資への支援事業の創設
とっとり水土里の女性会 檀床会長	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良事業にも男女共同参画における視点が必要。今後は本県での活動のみならず中国四国支部会の設立など、活動を広域化するためにも女性会への助成を検討
水土里ネットとっとり 榎本会長	<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化計画の目標達成に向けた流域治水対策における田んぼダムの推進支援の強化 多面的機能支払交付金(長寿命化)の予算確保

「令和4年度 鳥取県土地改良区等役職員研修会」を開催



研修会の様子

12月8日(木)倉吉未来中心「小ホール」において、水土里ネットとつとりが「鳥取県土地改良区等役職員研修会」を開催し、土地改良区の役職員ほか86名の参加がありました。

冒頭、水土里ネットとつとり 中村常務理事が「土地改良団体は、JA等他と比べて女性の参加が殆どない現状があります。県内土地改良区では、理事855名中、女性は僅か3名であり、男女共同参画の社会を実現していくためには、我々土地改良の分野でも、多くの課題はあると思われ

ますが、女性の参画を今後積極的に取組んでいかなければなりません。」と挨拶しました。

最初の講義では、全国水土里ネット 土地改良広報センター 牧千瑞 所長より『土地改良団体における男女共同参画の意義、基本事項、手引きの使い方』と題して話がありました。講義の中で、「国は、令和7年度までに女性理事10%以上の達成を目標としている。そのためには、各土地改良区で行動計画を作成して進める必要があり、その方法として改選時期に関わらず員外理事制度を活用してほしい。また、取組の推進には、国が作成した手引きを活用して下さい。」と話がありました。

次に、中国四国農政局 諸岡弘文 地方参事官より『男女共同参画の実現に向けて』と題して話がありました。講義の中で、女性理事登用と定款の規定について

- ①員内理事として登用
- ②員外理事として登用
- ③基本的に員外理事として登用する場合の定款規約例

の説明がありました。

最後に曾我紀厚 弁護士より『土地改良区に必要な法律知識(民法等の一部を改正する法律、相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律)』の講義がありました。最初に法務省のPR動画「なくそう所有者不明土地～相続登記等の申請が義務化されます」を視聴した後、簡潔に法律の内容について説明があり、「相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関して、土地(農地含む)は20万円/筆を国へ納めれば相続放棄できる。但し、建物など残っている場合、又土地改良区内の農地は賦課金が掛かっている場合は対象外である。」と話がありました。例年どおり、曾我弁護士の資料はQ&A形式となっており、わかりやすく有意義な研修となりました。

なお、土地改良相談は、本部、倉吉事務所、米子事務所で受付しております。相談事がありましたらお問合せ下さい。



全国水土里ネット 牧所長



中国四国農政局 諸岡地方参事官



曾我弁護士



愛と絆のある農業・農村をめざして
 水土里を愛する
 なかまたちを順次ご紹介

水土里ネットとっとり 総務企画課 主事 谷本 彩子



ママー！がんばれー！

鳥取県土地改良事業団体連合会の谷本です。水土里のなかまに仲間入りして、早9ヶ月が経ちました。

配属先は総務企画課で、先輩方にご指導頂きながら少しずつ仕事にも慣れてきました。日々の事務業務に加え、時には脚立に上って蛍光灯を替えたり、剪定バサミを持って会館周りの植え込みの剪定(もちろん自己流)をしたりと、バラエティにとんだ総務の仕事はなかなかパンチがあっておもしろいです。将来、連合会の「スーパー総務さん」になっていられるように、今年は簿記2級の勉強を始めたいと思っています。

私は、らっきょうや梨、砂丘で有名な福部町出身です。福部は自然豊かで、人もあたたかく、とてもよい町です。私は身体を動かすことが好きなのですが、幼少期から野山を駆けまわる活発な子どもで、中学時代は、陸上部で汗を流しました。1度だけ走幅跳びでジュニアオリンピックに出場

しましたが、なんと!まさかの13回ファールで記録なしという、ある意味みんなをビックリさせる結果を残してしまいました。陸上は中学校で辞めてしまいましたが、仲間と励まし合った日々は良き思い出です。

大学は地元の大学に進学し、発達児童心理学を専攻しました。学童クラブや幼稚園にインタビュー調査へ出かけて、一生懸命書き上げた卒論は3番目くらいに大切な宝物です。サークルは、学生がつくる地域の情報誌「Charider(チャリダー)」というフリーペーパーを作る活動をしていました。当時からカフェ巡りが好きだったので、取材と称してたくさんのお店に行きました。今は廃部になったようですが、どこかで冊子をご覧になられたことがある方がおられたら感激です。営業をして、取材をして、夜な夜な編集をして、研究室に行って…なかなか学生らしい大学生活を送りました。

今は、4歳の娘のお母さんです。娘は、おてんばで天真爛漫で、少々正義感強めの我が家のプリンセスです。こちらが私の人生で1番大切な宝ものです。寝ても覚めてもニコイチ、どこへ行くのもニコイチ、仕事以外はいつも一緒です。休日にはよく公園に出かけます。今は逆上がりの特訓中なのですが、成功への道のりはまだまだ遠



鉄棒特訓中

そうです。まだ娘よりできることが多い今のうちに、しっかり母親の威厳を見せつけておきたいので、老体に鞭を打って、目を回しながら逆上がりを披露しています。これからも、娘にとって自慢のかっこいいお母さんでいられるよう、仕事に子育てに体力づくりに頑張りたいと思います。将来、娘とカフェでゆっくりとコーヒーを飲めたらいいな?と夢見る今日この頃です。



わたしと愛娘

編集後記

あけましておめでとうございます！

今年のお正月は初めて初詣に行きました。卯年ということで白兔神社に行ってきました。おみくじは中吉と、なんとも言えない結果でした…。暇だなあと思うときもありましたが、地元の友達に会ったりと充実した冬季休暇を過ごすことができ、嬉しい限りです！

本年もよろしくお願いたします！

